

人間を救うのは、人間だ。

講習会のお知らせ

■ 救急法基礎講習：1日コース

心肺蘇生やAEDを用いた除細動などが学べます

10/1(土)・11/12(土)・12/3(土)・1/7(土)・3/21(祝)	日赤富山県支部	9:00~16:30
2/16(木)	県総合体育センター	9:00~16:30

■ 救急法救急員養成講習：2日間コース

急病の手当、けがの手当、搬送などが学べます

10/15(土)~16(日)・12/10(土)~11(日)・3/25(土)~26(日)	日赤富山県支部	9:00~16:30
2/17(金)、20(月)	県総合体育センター	9:00~16:30

■ 水上安全法救助員養成講習Ⅰ：3日間コース

水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、救助の仕方、応急手当などが学べます

1/18(水)~20(金)	富山市民プール	9:00~17:00
---------------	---------	------------

※救急法基礎講習を事前に修了する必要があります

■ 健康生活支援員養成講習：2日間コース

健康増進と高齢者に起こりやすい事故の予防・手当、日常生活の自立に向けた介護の知識と技術などが学べます

2/4(土)~5(日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
-------------	---------	------------

■ 幼児安全法支援員養成講習：2日間コース

子どもに起こりやすい事故の予防と手当、子どもの病気への対応などが学べます

10/29(土)~30(日)・3/11(土)~12(日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
------------------------------	---------	------------

指導員派遣

- 電話で、開催希望日時・希望内容・受講者人数・会場をお知らせ下さい。
- 派遣は、受講者が10名以上の場合とさせていただきます。
- 指導員の手配や資材の数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。



ファミリーサポートセンターで幼児安全法を行う指導員

新型コロナウイルス感染症に関して

- ◆ 感染拡大等の状況によっては、開催を中止する場合があります。
- ◆ 感染拡大の防止を図るため、講習内容（実技等）を制限するとともに受講者の体調についてお伺いする等の措置をとっております。



受講のお申し込みやお問い合わせ先
 日本赤十字社富山県支部 事業推進課
 TEL 076-451-7878
<https://www.jrc.or.jp/chapter/toyama/study/>
(ホームページから申し込みができます)

街頭献血のお知らせ

10月	2日(日)	イオンモールとなみ アル・プラザ小杉	9:00~12:00	13:20~16:00
	9日(日)	ファボーレ	10:00~12:00	13:15~16:00
10月	10日(祝)	イオンモール高岡	10:00~12:00	13:15~16:30
	16日(日)	ファボーレ		
	23日(日)	イオンモール高岡		
	29日(土)	イオンモール高岡		
	30日(日)	ファボーレ		

11月	3日(祝)	ショッピングア・ミュー	9:30~12:00	13:15~16:00		
	5日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00	13:15~16:30		
11月	6日(日)	PLANT-3滑川店	10:00~12:00	13:15~16:30		
	12日(土)	イオンモール高岡				
	13日(日)	ファボーレ				
	20日(日)	イオンモール高岡				
	23日(祝)	ハッピータウン氷見店			10:00~16:00	
	26日(土)	イオンモール高岡			10:00~12:00	13:15~16:30
	27日(日)	ファボーレ				

12月	3日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00	13:15~16:30
	4日(日)	ファボーレ		
12月	10日(土)	イオンモール高岡	10:00~12:00	13:15~16:30
	11日(日)	イオンモールとなみ		
	17日(土)	イオンモール高岡		
	18日(日)	ファボーレ		
	25日(日)	イオンモール高岡		
	28日(水)	イオンモール高岡		
	29日(木)	ファボーレ		
	30日(金)	イオンモール高岡		

1月	3日(火)	イオンモール高岡	10:00~12:00	13:15~16:30
	4日(水)	イオンモール高岡		
	8日(日)	イオンモール高岡		
	9日(祝)	ファボーレ		
	15日(日)	イオンモール高岡		
	21日(土)	イオンモール高岡		
	22日(日)	ファボーレ		
	28日(土)	イオンモール高岡		
	29日(日)	ファボーレ		

- ★ お昼時間は受付をお休みします。
- ★ 日程は都合により変更することがあります。



お問い合わせ先
 富山県赤十字血液センター
 TEL 076-451-5555
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/toyama/>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字とやま

3年ぶりに開催 リーダーシップ・トレーニング・センター



小学生メンバー



中学生メンバー

みんなで
「人道」について
考えてみよう



高校生メンバー



8月、青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(以下、トレセン)が3年ぶりに開催されました。トレセンには県内各地の青少年赤十字加盟校から児童・生徒(以下、メンバー)が集まり、学校の教員の指導のもと、リーダーとして必要な自主・自律の精神などを身につける目的があり、赤十字が提供する学習活動の場です。

日帰り開催となった今回のトレセンでは、赤十字が最も大切にしている人道の心と、その心を妨げる4つの敵「利己心」「無関心」「認識不足」「想像力の欠如」について、ウクライナ紛争の話を変えながら学びました。参加したメンバーは、人道とはなにか、人道の4つの敵に負けないためにはどうした

らよいかを考え、小・中学生は人道を表すポスター作りを、高校生は戦時中の人々の気持ちになって人道を考えるグループワークを行いました。

活動中はメンバー全員が、自分にできることを率先して見つけ、行動し、青少年赤十字の態度目標である「気づき・考え・実行する」を体現してくれました。最初は他校の児童・生徒ばかりの中で緊張した面持ちだったメンバーも、1日の活動を終える頃には笑顔があふれ、成長した姿を見せてくれました。

トレセンで学んだ人道の心やリーダーシップを、学校生活や日々の生活で発揮してくれることを期待しています。



2月24日に拡大したウクライナ紛争は、今後数年間でヨーロッパ最大の人道危機になるおそれがあるとされています。

1864年に締結された「国際人道法」とも呼ばれる『ジュネーブ諸条約』（世界196の国が加入）には、戦争や紛争時における原則や規則などが定められています。赤十字は、紛争当事者に向けてこの「国際人道法」の遵守を強く訴え続けています。

ご存じですか？「国際人道法」7つのルール（要約）

1 敵対行為に参加しないすべての人は、人道的に待遇する。		2 常に戦闘員と一般住民を区別し、その攻撃を軍事目標に限定しなければならない。
3 投降し、敵対行為を止めた戦闘員は、殺傷してはならない。	紛争当事者は、互いに傷病者を収容、看護しなければならない。そのため赤十字などの標章（※）を尊重、保護する。	5 捕虜、抑留者の生命、尊厳、人権の尊重を保障する。
6 不必要で過度な損害や殺傷をもたらす武器は使用してはならない。		7 公正な裁判を受ける権利及び拷問などを受けない権利を保障する。

※「赤十字マーク」を掲げている病院や救護員などには、絶対に攻撃を加えてはならないと国際法や国内法で定められています

より多くの人が「国際人道法」を知り、支持することが、紛争当事者にその遵守を促し、民間人と非戦闘員を守ることにつながります



◆ウクライナ紛争をきっかけに、赤十字について知っていただきたい2つのこと

1 赤十字のはじまりとジュネーブ条約

1859年、スイス人の実業家アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで悲惨なありさまを目の当たりにしました。「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士としてその尊い生命は救われなければならない」。デュナンは、すぐに町の人々や旅人達と協力して、放置されていた負傷者を教会に収容するなど懸命の救護を行います。

ジュネーブに戻ったデュナンは、自ら戦争犠牲者の悲惨な状況を語り伝え、書籍『ソルフェリーノの思い出』を出版します。これがきっかけとなり、1863年に全文10カ条からなる「赤十字規約」が採択され、翌年の『ジュネーブ条約』の調印につながり、国際赤十字（現在の赤十字国際委員会）が誕生することとなりました。

2 赤十字を掲げて活動する3つの機関

赤十字は世界各地で、戦争・紛争犠牲者の救援、災害被災者の救援、医療・保健・社会福祉事業などを行っています。

また、日本赤十字社は、ウクライナ人道危機において、救援金の募集やウクライナ国内・周辺地域に職員を派遣しています。



医療体制のひっ迫が続く沖縄県に応援看護師を派遣

2022（令和4）年初夏の沖縄。新型コロナウイルス感染者がゴールデンウィーク後に急増し、本島圏域と宮古圏域のコロナ病床の使用率は50%を超えるなど高い水準で推移していました。その一方で、非コロナ病床使用率は90%を超えるなど、一般医療のひっ迫も。（※数値は6月7日沖縄県発表情報）
沖縄県が独自のコロナ感染拡大警報を出す中で、医療機関への支援に向かった看護師からの報告です。

富山赤十字病院
看護師
森田 尚子 さん



沖縄派遣での体験 －赤十字精神を再確認－

日赤本社から沖縄県の新型コロナウイルスの医療体制への支援要請がありました。自分がこの使命を果たせるのかという思いはありましたが、赤十字の一員としていつでもどこへでも行くという気持ちで6月1日から15日まで応援に行きました。

沖縄県の友愛医療センターのHCU（高度治療室）で勤務をしました。沖縄の新規感染患者数は一日平均1,200人という中で、HCUでは手術後の状態が不安定で急変する可能性がある患者や新型コロナウイルス感染症の患者のケアを行いました。交代勤務をしながら患者さんの経過観察および食事、入浴、排泄介助などを行いました。未経験のことや方法の違いには看護師間で情報交換して確実に実施しました。病院スタッフはとても友好的で新たな知見を得ることもでき、まだまだ沖縄にいたいという気持ちになりました。

看護師として“患者さんを救いたい”、“人としての尊厳を



友愛医療センター（沖縄県豊見城町）

守りたい”という赤十字精神に基づき看護することの喜びを再確認しました。また、看護師としてチームで連携して看護する大切さと充実感を得ることができました。

応援に行くにあたり勤務調整をくださった病院職員および関係者の方々に感謝するとともに、新型コロナウイルスの終息を心から願っています。

東海北陸ブロック 学生サマー献血キャンペーン2022



7月23日はイオンモール高岡、24日はファボーレを会場に「東海北陸ブロック学生サマー献血キャンペーン2022」を開催しました。

このキャンペーンは、学生献血推進ボランティアが中心となり、「献血でおもいやりの情熱を」を統一スロー



ガンに、同世代の若者の献血への参加促進を図り、夏場の血液不足を補うことを目的とし実施しました。

富山大学、富山国際大学の学生ボランティア10名が参加し、献血の呼びかけや記念品（若狭塗箸）の提供等を行いました。両日合わせて、120人を超える方に献血へのご協力をいただきました。